

地権者のみなさまの発意による開発を支援します

- 関係地権者での勉強会の開催や、地権者による具体案の検討への支援を行います
- 各地権者の状況に合わせて再建策の検討を進めます

平成29年6月

名古屋市住宅都市局

リニア関連・名駅周辺開発推進課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

TEL : 052-972-3986

Email : a3981@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

リニア駅周辺のまちづくりの方向性（案）

東地区



■まちづくりの方向性（案）とは

名古屋市では、中央新幹線（リニア）開業を見据え、リニア駅周辺街区のまちづくりを検討しています

今回その考え方を「まちづくりの方向性（案）」として取りまとめました

「まちづくりの方向性（案）」は、今後みなさまのお考えをお伺いするための「たたき台」として、名古屋市の考え方を提示するものです

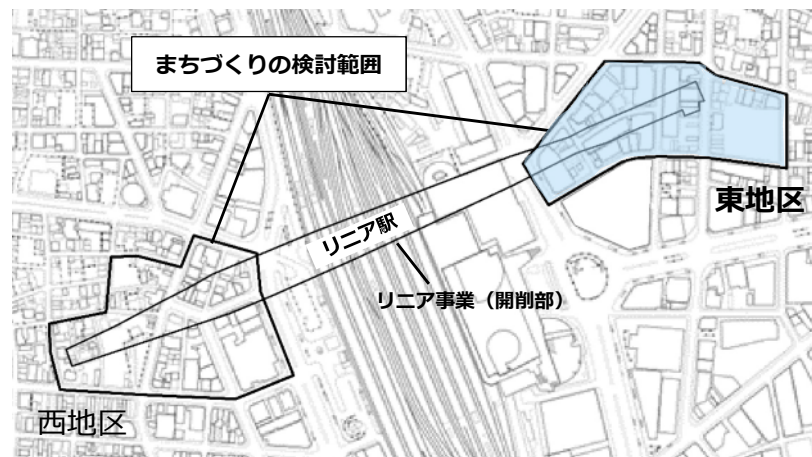
地域のみなさまから「まちづくりの方向性（案）」に対するご意見、ご要望を頂戴しながらまちづくりの計画を定め、進めてまいりたいと考えています

■リニア駅周辺のまちづくりの必要性

名古屋駅は日本有数のターミナル駅であり、リニア開業により、広域から名古屋駅を利用する人のさらなる増加が想定されます

リニア駅整備と合わせて、地域の活性化にも資する、にぎわいのある空間づくりを行っていくことが必要と考えています

そこで、リニア駅整備に伴ってまちが大きく変わるなか、リニア開業を見据えたまちづくりを進めていきます



「人々が集い、憩い、交流する“広場”が中心にあるまち」

4つのイメージ

① 名古屋の“顔”となり、多彩で魅力的な“顔”をもつまち



② プロムナード空間となる広場を中心に、広域から人々が憩い・にぎわうまち



③ 地域資源を活かした回遊性の高い・歩いて楽しいまち



④ 交流拠点・ビジネス拠点にふさわしい安心・安全なまち



地域の意向

- 将来のまちのイメージ
 - ・ 商業機能の充実
 - ・ 高層ビルの開発などによるにぎわい
- リニア駅上部空間の活用方法
 - ・ 地下街などを結ぶ地下通路
 - ・ 防災広場
- 土地・建物に対する今後の意向
 - ・ 居住、事業継続意向をもつ方が多いが、リニア整備を機に事業拡大や共同開発を望む意向も多い

※地権者アンケート調査（H27.7）より

地区の状況

まちづくり構想等における位置づけ

- 名古屋駅周辺まちづくり構想（平成26年9月策定）
 - ・ ビジネス拠点性を高める都市機能の強化
 - ・ 交流を促進し、来訪者をもてなす機能の強化
 - ・ 公共空間と沿道建物が一体となって魅力ある空間を形成
 - ・ 周辺街区を含むまちづくりの推進
 - ・ 防災性の向上
 - ・ 環境負荷の低減
- 第2次 名古屋駅周辺地区 都市再生安全確保計画（平成28年2月策定 29年3月改定）
 - ・ 発災時の混乱等を防ぐための一時退避場所や退避施設の整備や確保が必要

地区の特性・課題

- 特性
 - ・ 名古屋駅前という非常に良い立地
 - ・ 超高層ビル群と古民家を活用した飲食店が多く立地する界隈性のあるまちなみが共存
 - ・ 周辺にはノリタケの森、堀川、四間道、円頓寺商店街等の歴史・文化を感じられる魅力的なエリア
- 課題
 - ・ 緑や憩いの場となる空間の不足
 - ・ 大規模地震時における帰宅困難者対策

○ 街区の再編・道路の再配置によるまちの基盤整備

- ・ 道路を再配置し、適正な規模の街区や広場空間の確保等によって名古屋駅前にふさわしい開発の誘導を図ります
- ・ 地権者が事業継続や建替えを進めることができるよう、必要な道路を配置します

○ まちの中心となる広場の整備

- ・ 名古屋駅前にふさわしい風格を有し、駅から広場へ、広場から周辺のまちへと人が回遊するような、魅力的なプロムナード空間とします
- ・ 木陰やベンチなどでオフィスワーカーや買い物客が憩う空間とします
- ・ 大規模地震時には、駅周辺の人が一時的に退避する場所として活用します

○ 魅力あるまちづくりの支援

- ・ 周辺の建物が広場に顔を向けるような開発を誘導し、広場に面した建物との一体的なまちづくりを進めます
- ・ 地権者が、個別での建替えや共同化等の検討を進める際には、支援・協力します
- ・ 市有地を活用したまちづくりについて、リニア事業の代替地としての活用などの検討を進めます
- ・ 地域の住民や事業者が、広場の計画や管理について地域での話し合いを進め、管理運営に主体的に携わることのできる環境をつくります

